

令和8年7月31日
道路局道路交通管理課

自動運転車両の道路管理への活用に向けた協力者を募集

～自動運転車両提供協力者を募集～

国土交通省では、道路管理等の更なる高度化・効率化を進めていくため、自動運転車両を導入し、将来の無人化も見据えた検証に着手したところです。

本実証実験においては、将来的なレベル4(L4)無人自動運転による道路管理車両の実装を見据え、自動運転開発車両(L2++相当)を用いて、自動運転車両を道路管理へ活用した場合の効果検証等を実施することとしており、参加者の公募を行います。

(1) 募集期間

令和8年7月31日(金)～ 令和8年8月28日(金) 12時

(2) 実験内容

①道路管理への自動運転車両の活用検討

- ・自動運転車両及び自動点検技術等を道路管理へ活用した場合の効果検証
- ・自動運転車両導入に向けた車両調達要件の検討
- ・一定路線(管理路線)でのL4に向けた検討

②車両データ連携検討

※詳細は別紙・公募要領を参照して下さい。

(3) 提出方法・採択方法

申請者は、国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム(ITS)推進室に実験の内容や申請書類の作成方法等について予め相談のうえ、申請書類一式を「(4)提出先」のメールアドレスに提出してください。国土交通省において申請書を確認し、採択を行います。

※提出後に内容についての確認、またはヒアリングを行う場合があります。

※詳細は公募要領を参照して下さい。

(4) 事前相談先・提出先

道路局道路交通管理課 ITS 推進室

- ・TEL : 03-5253-8484
- ・MAIL : hqt-its2020-dk@gxb.mlit.go.jp

※公募要領・申請書は下記のページに掲載しています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_002123.html

【問合せ先】

道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 大嶋 伊藤 猪爪 宇津

TEL:03-5253-8111(内線 37453・37462・37468・37463) (課直通)TEL:03-5253-8484

自動運転車両を活用した道路維持管理等の高度化・効率化

- 道路維持管理等の更なる高度化・効率化を進めていくため、将来の無人化も見据えて、自動運転車（開発中含む）の車両を導入（自動運転車両や自動化技術の導入に向けた実証を実施）
- あわせて、自動運転の開発を後押しする観点から、道路巡回等で走行した映像データ等を開発メーカと共有する枠組みを検討

自動運転車両の活用シーン

○道路巡回（パトロール）

- ・ 日常点検
- ・ 災害時等の緊急点検、資機材輸送、現地での電源としての活用 等

○除雪・凍結防止剤散布、清掃・散水

○規制作業

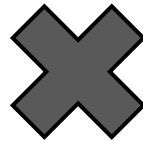
- ・ 標識車として活用
- ・ 先頭固定車として活用



道路巡回・点検

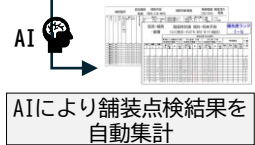


標識車

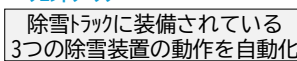
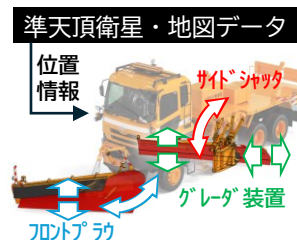


自動化技術の導入例

- ・ AIカメラやセンサー等を用いた異常検知（目視点検によるバラつきを軽減等）
- ・ 清掃・散水の自動化
- ・ 除雪時の路上施設の自動回避、投雪方向の自動化



AI技術を活用した舗装点検



除雪装置の自動化（北陸地方整備局）

想定される効果

- ・ 巡回頻度向上
- ・ 作業頻度向上
- ・ 作業員の安全性向上
- ・ 省人化・無人化、長時間作業が可能、現地対応力の向上

自動運転車両による効率化等

走行データ等の共有による自動運転の実装支援

車両開発メーカ

⇒直轄国道の巡回（パトロール）から取組を開始